

平成23年3月14日

流行性疾患について(ご協力依頼)

朝夕に温度差があり季節の変わり目には免疫力が低下するそうです。そういう時にウィルス性の風邪になりやすいようです。お熱が高くなくても、お子さんの体調が悪い時や流行性疾患の場合は、大事を取って家庭でゆっくり過ごし症状が長引かないようにして下さいませようご協力下さい。

10月後半から感染性胃腸炎が流行し始めています。症状は、下記のとおりですのでそういう症状がある場合は、ご家庭でゆっくり様子を見てください。

- 熱はないが、嘔吐、下痢がある。
- 食欲が落ち、気分も優れないのでぐずる。
- 子どもが感染すると家族にも感染する。

上記の症状がある場合は、感染防止のため次のとおりにして下さい。

- 冷たい物や水分を取ると吐き気をもよおすので、暖かい食事をあげる。
- 下痢や嘔吐を処理する際は、換気する。
- マスク、ビニール手袋などを着用して処理する。
- 処理した物は、ビニール袋に入れ空気が漏れないようにきちんと縛ってフタのあるゴミ箱に捨てるようにして家族への感染を防ぐ。

また、下記の感染症や疾患もありますのでお気をつけ下さい。

• 溶連菌感染症

喉の痛み、高熱、頭痛、下痢、嘔吐などの症状がみられ、お子さんだけでなく、ご家族にもうつります。脱水症状を起こすこともあるので、こまめな水分補給が必要です。

• 夏カゼ、ヘルパンギーナ、プール熱、手足口病、鼻水がとまらない、とびひ、流行性結膜炎、水いぼなど

手足口病は、別紙のとおり症状ですので、登園する前にご確認下さい。水泡性発疹がある間は、他児にも感染しますので、水疱が、紫色の小さな斑点になるまで登園をお控えくださいますようお願いいたします。

